

Novartis Pharmaceuticals Corporation

Novartis Pharmaceuticals Corporation **TSC**

Novartis Pharmaceuticals Corporation

Novartis Pharmaceuticals Corporation

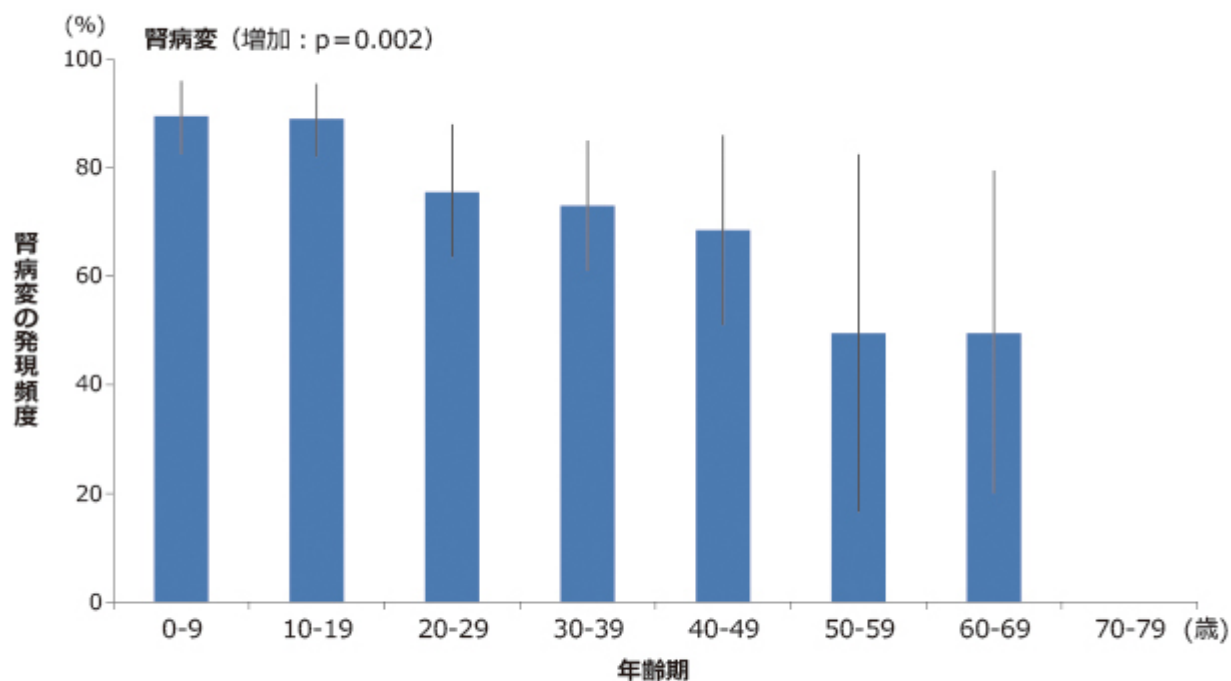
Novartis Pharmaceuticals Corporation

AML

20~30 2~4% 20~50%¹⁾
2013 166 ²⁾ 1²⁾ 71
28 AML
2

Image

図1 年齢期別の腎病変の発現率



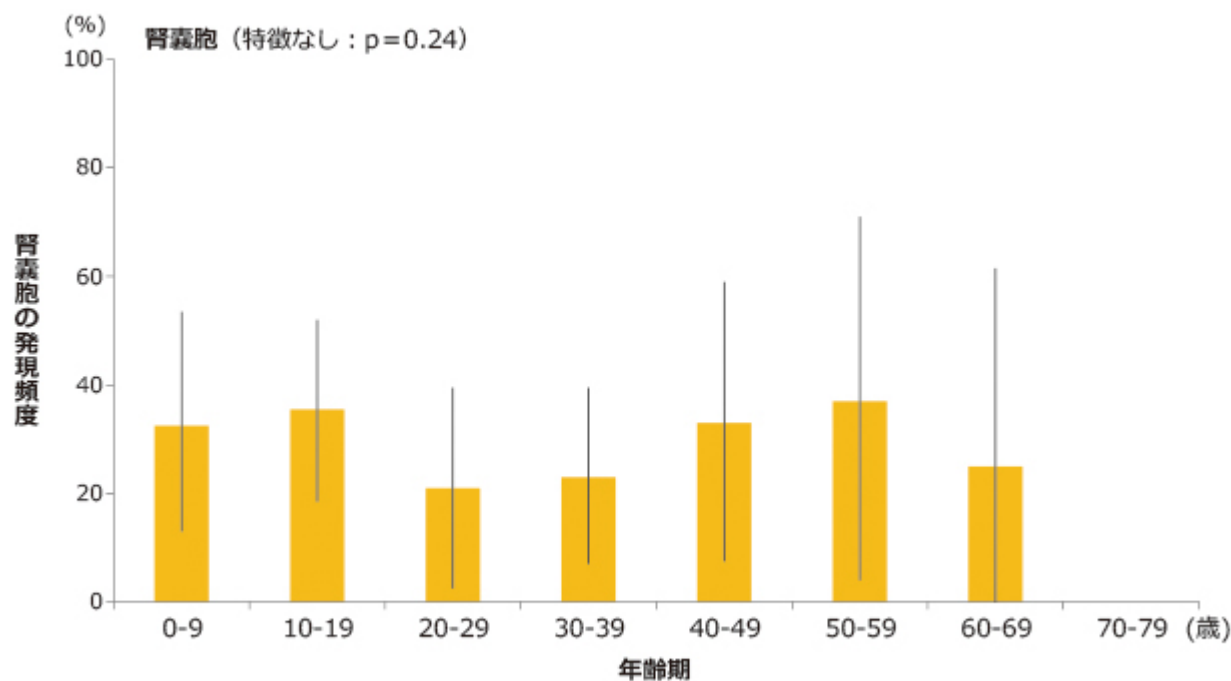
黒棒は信頼区間 (CI) を示す。

一般化ロジスティック回帰モデルによるWald χ^2 検定

Wataya-Kaneda M, et al. PLoS ONE 2013; 8: e63910

Image

図2 年齢期別の腎嚢胞の発現率



黒棒は信頼区間 (CI) を示す。

一般化ロジスティック回帰モデルによるWald χ^2 検定

Wataya-Kaneda M, et al. PLoS ONE 2013; 8: e63910

□□□□□□□□□□□□

腎臓病の診断基準は、血中の肌酐値（creatinine）と尿中のタンパク質排泄量（proteinuria）に基づいて行われる。腎臓病の診断基準は、血中の肌酐値（creatinine）と尿中のタンパク質排泄量（proteinuria）に基づいて行われる。

腎臓病の診断基準は、血中の肌酐値（creatinine）と尿中のタンパク質排泄量（proteinuria）に基づいて行われる。

腎臓病の診断基準は、血中の肌酐値（creatinine）と尿中のタンパク質排泄量（proteinuria）に基づいて行われる。

Image

図 3



Reproduced, with permission, Umeoka S, et al. RadioGraphics 2008; 28: e32
ノバルティス ファーマ社内資料

Image

図 3



Reproduced, with permission, Umeoka S, et al. RadioGraphics
2008; 28: e32
ノバルティス ファーマ社内資料

図 4

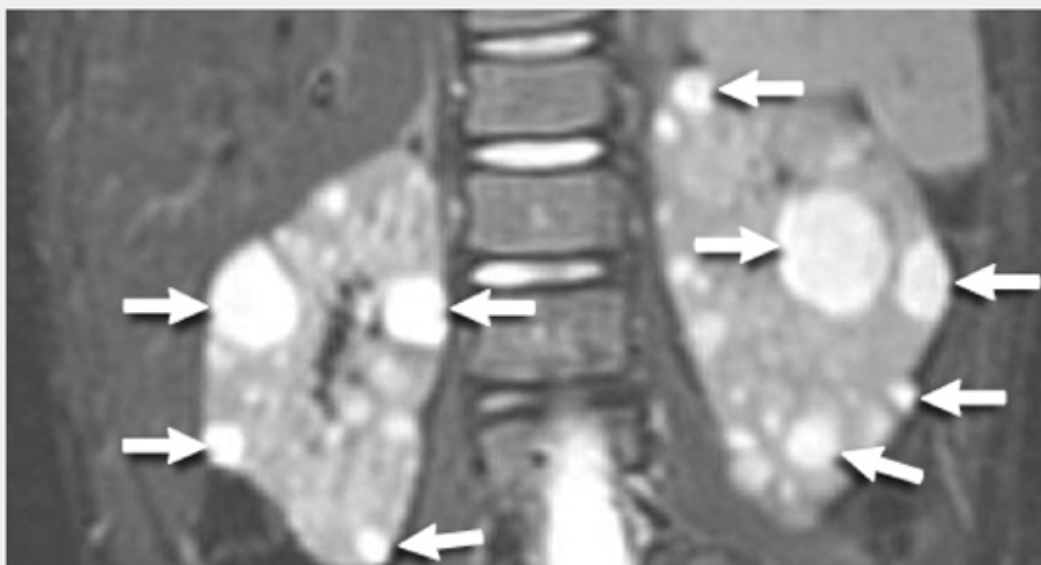
図 4 は、図 3 と同様の患者の別の断面（矢状面）の CT 画像を示しています。³⁾ 腎臓に多数の嚢胞（水ぶくれ）が認められ、腎臓の大きさが正常よりも著しく増大していることが確認できます。この画像は、図 3 の横断面画像と合わせて、腎臓の嚢胞性変化の全体的な広がりを示しています。

図 4 は、図 3 と同様の患者の別の断面（矢状面）の CT 画像を示しています。³⁾ 腎臓に多数の嚢胞（水ぶくれ）が認められ、腎臓の大きさが正常よりも著しく増大していることが確認できます。この画像は、図 3 の横断面画像と合わせて、腎臓の嚢胞性変化の全体的な広がりを示しています。

図 4 は、図 3 と同様の患者の別の断面（矢状面）の CT 画像を示しています。³⁾ 腎臓に多数の嚢胞（水ぶくれ）が認められ、腎臓の大きさが正常よりも著しく増大していることが確認できます。この画像は、図 3 の横断面画像と合わせて、腎臓の嚢胞性変化の全体的な広がりを示しています。

Image

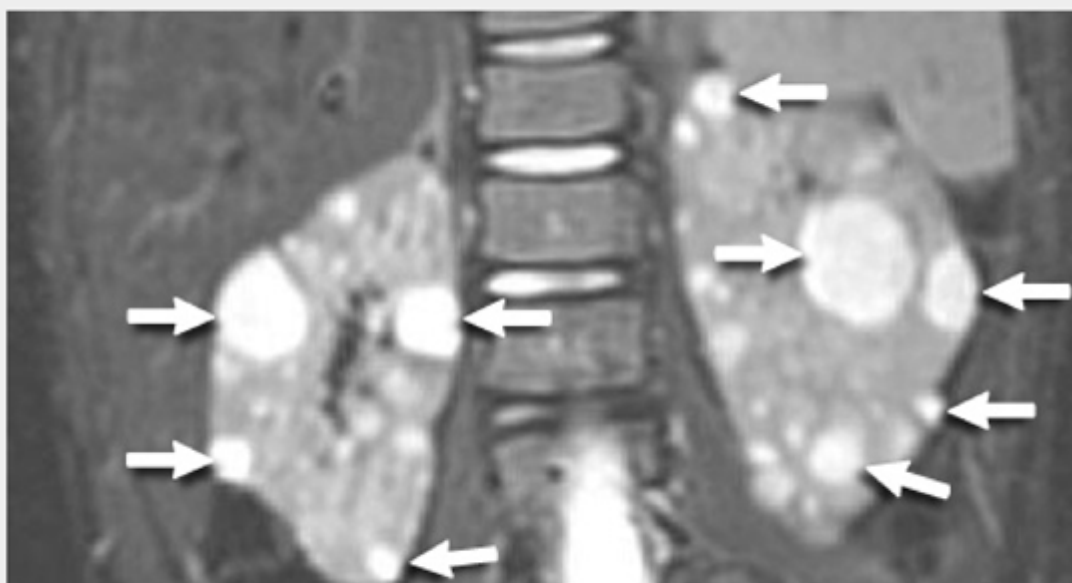
図 4



ノバルティス ファーマ社内資料

Image

図 4



ノバルティス ファーマ社内資料

腎臓がんrenal cell cancer: RCC 5

腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。AML

腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。2017⁸⁾腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。腎臓がんは、腎臓の細胞から発生するがん。

Image

図 5



Reprinted with permission from John Wiley and Sons.
ノバルティス ファーマ社内資料

Image

图 5



Reprinted with permission from John Wiley and Sons.

ノバルティス ファーマ社内資料

1111

- 1) 日本腎臓学会. 2016年; 日本腎臓学会. 2016: p.5
- 2) Wataya-Kaneda M, et al. PLoS ONE 2013; 8: e63910
- 3) Northrup H, et al. Pediatr Neurol 2013; 49: 243-254
- 4) Umeoka S, et al. Radiographics 2008; 28: e32
- 5) Cheadle JP, et al. Hum Genet 2000; 107: 97-114
- 6) 日本腎臓学会. 2016年
- 7) 日本腎臓学会. PKD. 2020. 日本腎臓学会. 2020. 日本腎臓学会. 2020
- 8) 日本腎臓学会. 2017年, 日本腎臓学会

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

Page 10